

令和8年度 業界等の課題・要望項目 集約一覧

1. 「11部会」課題・要望項目

部会名	開催日	項目	課題・要望等
①繊維衣料 出席者数：13名 部会員数：49名	6/4 (木)	若者の地元定着に向けた生活支援と産学連携の強化	4大学1高専等の学生が卒業後も地域に定着できるよう、首都圏の企業に引けを取らない家賃補助など手厚い生活支援を要望します。 - あわせて、若者の将来的な定着を図るため、産学が連携した地元企業と若者が触れ合う機会の創出支援を要望します。
		既存資源の活用と新たなイベント創出による滞留型観光の推進	- 交流人口創出のため、長岡花火に依存した一時的な集客から脱却し、来岡者等が市内に滞留し回遊する仕組みづくりを要望します。 - あわせて、飲食中心のイベントに留まらず、地元の多様な産業資源・歴史資産を積極的に情報発信し、市外から新たな客層を呼び込むことで、地域経済の活性化につなげるよう要望します。
②食品 出席者数：17名 部会員数：204名	5/15 (金)	食品産業の持続的発展に向けた人材確保・若者定着への支援	- 人材確保と若者の地元定着のため、奨学金返還支援制度の拡充、住居費や移住、採用活動への支援など、企業と働き手の双方が活用しやすい制度の整備を要望します。 - あわせて、食品関連産業における技術や経験の継承、多様な人材の活用、業界内での人材マッチングへの支援を要望します。
		「長岡の食」を活かした地域ブランド力の向上と情報発信の強化	- 全国に誇る「長岡の食の資源」について、これらの価値を整理し、行政、関係団体、事業者が連携して、長期的かつ横断的に情報発信する体制づくりを要望します。 - また、長岡まつり大花火大会、米百俵フェス、酒の陣、寺泊、摂田屋、中心市街地などと「食」を結びつけ、観光誘客や地域消費の拡大につながる取り組みを要望します。
③生活用品 出席者数：12名 部会員数：147名	5/26 (火)	安心・安全な市民生活を守る除雪技術の向上とインフラ整備	- 長岡において「雪」は定住の大きな阻害要因となり得るため、迅速で確実な除雪・消雪体制の維持が肝要です。しかし近年、市内の生活道路の除雪状況については、除雪オペレーターの高齢化や技術伝承の不足が見られます。ついては、除雪技術の伝承に向けた事業者等への支援を強化するとともに、過去に設定された除雪路線・消雪路線の区分についても現状の実態に即した見直しを要望します。 - あわせて、自転車通行帯の確保や標識の配置見直しなど、除雪作業がしやすく、市民が冬期間も安心して生活できる道路環境の整備を要望します。
		人口減少対策と若者定住・人材確保に向けた支援強化	- 人口減少は地域経済にとって致命傷であり、若年層の流出を防ぐためには従来以上の投資が必要です。若者が長岡に定住し、安心して家庭を持てるよう、結婚や世帯形成に対する補助金の大幅な拡充など、思い切った定住支援策を要望します。 - また、深刻化する人手不足に対応するため、若者の社会経験と労働力確保の観点から、県立高校生のアルバイト制限の緩和について検討いただくよう要望します。
		子育てをしやすい環境があるという長岡の強みの発信の継続・強化	多様な働き方が広がりリモートワークが普及した環境の中、長岡は海・山・スキー場へのアクセスの良さなど、子育てをしていく上でも家族で楽しめる環境にあるというメリットがあることを、これまで以上に積極的に発信していただくよう要望します。
④機械・電機 出席者数：23名 部会員数：362名	5/19 (火)	産業廃棄物処理への対応	産業廃棄物の最終処分場問題は、特定の業種に限らず産業界全体の共通課題であり、事業継続に直結する極めて切実な問題であるため、長年継続して要望している通り、引き続き県内の産業廃棄物処分場の整備促進と、スラグの処理や有効活用について具体的な支援策をお願いしたい。
		電力料金の高騰対策	電気料金の高騰は企業の競争力を著しく低下させているため、柏崎刈羽原発が立地・稼働する地域という特性を活かし、地元企業への安価で安定した電力供給を最優先で要望するとともに、製造業の直接的な負担軽減につながる助成金制度の創設など、実効性のある支援策を要望します。
		環境変化に伴う企業の人材確保に向けた支援策の拡充	人材の確保は喫緊の課題となっているため、U・Iターン等による移住者への住民税軽減や奨学金返済支援といった具体的なメリットの提示や、外国人労働者の受け入れのための地域社会の理解促進を含めた環境づくりへの支援を要望します。
		公共交通の利便性向上	路線バスの運行本数の減少や終了時間が早いことで、従業員の就業継続や若手人材の確保・インターンシップ受け入れを含め地域活性化に支障が出ており、工業団地周辺を含めた公共交通の利便性向上、アクセス改善を要望します。
⑤一般工業 出席者数：11名 部会員数：98名	5/26 (火)	企業と若者の本音をつなぐ双方向型の仕組みづくり	- 地元学生の県外流出が深刻化する一方で、若者一人ひとりの就職観や価値観について企業が理解を深める場の充実が求められています。 - そこで、企業と若者が率直に対話し、「双方の個別ニーズ」を情報交換できる場として、例えば、ミライ工長岡を拠点に対話できる機会を定期的で開催し、対話内容を集約・共有し、企業の職場改善や採用力向上につなげる仕組みの構築を要望します。
		女性が活躍する長岡の実態を届ける仕組みづくり	- 市内には、女性が活躍し子育てと仕事を両立している職場が沢山ありますが、一方で、女性ほど県外へ転出する傾向が見られます。 - ついては、女性が就職先やキャリア、ジェンダーギャップの不安から県外へ流出することがないよう、長岡で働く女性の生の声や職場の実情、ジェンダーバイアスの解消につながる情報を、女性の学生や求職者に届ける仕組みを構築して欲しい。

部会名	開催日	項目	課題・要望等
⑥建設 出席者数：37名 部会員数：575名	6/1 (月)	産業団地の早期分譲開始に向けた整備促進、及び新たな産業団地の確保	- 産業用地不足の解消に向け、中之島中央産業団地におけるインフラ整備等の造成工事を迅速に推進し、企業誘致を早期に実現していただきたい。 - また、企業の旺盛な立地需要に対する自治体間の競争に長岡市として打ち勝つため、市主導のもとで民間活力を最大限に引き出し、規制緩和や行政手続きの迅速化による新たな産業団地の確保をお願いしたい。
⑦金融 出席者数：18名 部会員数：69名	5/28 (木)	人材確保に向けた学生・若者に対する優遇施策の拡充	- 現在の人手不足を解消するには、4大学1高専の学生が地元企業に就職することや、Uターン of 若者を増やすことが必須である。 - ついては、企業に対し4大学1高専の学生やUターンの若者への採用活動や就職した際の助成と、税制の優遇等をお願いしたい。 - また、長岡市の企業に就職した学生に対し奨学金返済の助成をお願いしたい。
		交流人口の拡大に向けた「長岡ラーメン博物館」の設立	- 長岡の交流人口を増やすには、他都市との差別化が必要である。そのためには尖ったコンテンツとして、長岡駅周辺に長岡ラーメン博物館の設立を強く要望する。 - そして、バスケットボールチームのホームである利点を活かし、県外からの来場者がアオーレ長岡周辺の長岡ラーメン博物館に立ち寄ることで、「バスケ×長岡ラーメン」という新しい流れを生み出し、長岡駅周辺の交流人口拡大へつなげるようお願いしたい。
		企業存続と雇用維持のための事業承継への支援強化	次世代への企業の存続と雇用維持のためにも、事業承継が円滑に進められるように、事業者向けに無料相談会の開催や、後継者不足に悩む企業に対しM&Aについての勉強会の開催、もしくは開催する企業への助成をお願いしたい。
		長岡市制度融資の拡充、並びにサポート補助金のPR・申請方法の強化	- 長岡市制度融資サポート補助金は、手続きをしないともらえない補助金制度のため、利用者が伸びていない。補助金制度を多くの事業者より利用いただけるよう、PRを強化するとともに申請の改善を行うことで、事業者にとって使い勝手の良いサポート補助金に強化することをお願いしたい。 - 昨今の世界情勢や金利の上昇により、追加の資金調達に困窮している小規模事業者に対し、利子補給を長岡市制度融資に新たに加えていただくようお願いしたい。
⑧運輸・交通 出席者数：15名 部会員数：155名	6/2 (火)	人材確保・定着に向けた補助金等の拡充	人手不足が深刻化する中、企業の採用支援並びに従業員の資格・免許取得、賃金や待遇改善、職場環境改善に取り組む事業者が活用しやすい補助金・助成制度の拡充をお願いしたい。
		安全運行を支える道路環境整備の推進	- 車両が安全かつ円滑に運行できるよう、冬期の車道・歩道の除雪、交差点付近や公共交通が集中する箇所の排雪、融雪道路の整備など、除雪対策の強化をお願いしたい。 - 交通事故防止と通勤・通学時の安全確保に向けて、薄れた白線の引き直しや、自転車道の整備など、道路利用者が安心して通行できる環境整備をお願いしたい。
⑨観光・サービス 出席者数：37名 部会員数：476名	5/25 (月)	錦鯉を核とした観光推進	錦鯉をブランド化し観光の切り口とするため、インバウンドだけでなく、日本人、市民に対しても錦鯉の発祥等の正しい情報と認知度を上げるためのPRを行っていただきたい。
		観光誘客のための情報発信強化	絶大な集客力を持つ長岡花火の観客を他の観光へ誘導するため、錦鯉や食などの地域資源情報を併せて発信し、通年観光につなげる仕組みづくりをお願いしたい。
		観光交流人口拡大に向けた官民・広域連携の強化	- 国・県・市と民間業者の間で情報共有と、誰がどの役割を担うのかという横の連携を強化いただきたい。 - 観光客の属性等詳細なデータを収集・分析し、ターゲットを絞った効果的な誘客施策の基盤を作してほしい。
		制度変化を見据えた飲食店支援策の強化	消費税率（軽減税率等）の動向やテイクアウト需要などを踏まえ、「飲食店応援キャンペーン」のような具体的な支援策を実施いただきたい。
⑩情報・専門 出席者数：31名 部会員数：389名	5/21 (木)	多様な人材の確保・定着に向けた包括的支援の強化	- 新卒層が県外流出するなか、地元定着と将来的なUターンを見据え、市内企業と就職希望者をマッチングするデータベース等の仕組みづくりを要望します。 - また、外国人材が地域と共生できる住環境や受け入れ態勢の整備、ミドルシニア世代の再就職支援の拡充を求めます。
		「一点突破」の差別化と強固なインフラを活かした戦略的情報発信	- 新幹線駅から徒歩2分にある「アオーレ長岡」の圧倒的利便性を活かし、首都圏のイベント主催者・MICE関係者に対する誘致活動を要望します。 - また総花的な広報ではなく、長岡花火や独自の食文化など、看板コンテンツを明確に位置づけ、市長自らが「旗印」として一点突破型の情報発信する体制を求めます。
⑪健康・医療福祉 出席者数：17名 部会員数：85名	5/26 (火)	多様な人材（若者・子育て世代・外国人材）の確保と定着に向けた総合的支援	深刻な人手不足を解消するため「選ばれる街」としての基盤整備が重要であり、市独自の求人マッチング機能の強化と情報集約システムの構築、留学生や外国人材のための住環境と福利厚生 の充実に向けた支援強化をお願いしたい
		生産性向上とDX推進による経営基盤の強化支援	人件費や食材料費の高騰、人手不足を補うため、ICTやAIを活用した業務効率化への支援強化をお願いしたい。

2.「振興委員会議（東西南北）」課題・要望項目

ブロック名	開催日	項目	課題・要望等
⑫東ブロック 出席者数：6名 振興委員数：8名	5/14 （木）	中心市街地の活性化	・ 大手通りの再開発工事終了を見据えながら、長岡駅を利用するビジネス客が日帰りから宿泊へ変えたいくなるような、ソフト面の魅力アップによる賑わいの創出に取り組んで欲しい。
		学生への地元企業の認知拡大	・ 地元の魅力ある企業情報を周知し、人材確保できる仕組みを作って欲しい。
⑬西ブロック 出席者数：6名 振興委員数：7名	6/1 （月）	一般廃棄物への対応とリユースの推進	・ 単に廃棄や焼却をするのではなく、行政が運営するリサイクルショップのような形で家具などを再利用（リユース）する取り組みを要望します。
		若者定着に向けたSNS情報発信の手法公開と連携	・ 行政が実施している若手世代向けのSNS発信について、連携して情報を発信し、相乗効果を生み出すために、ターゲットへの届け方や広告手法、効果測定などの情報公開・共有を要望します。
		県単位での人材育成事業の展開に向けたシステムづくり	・ 人材育成や教育を目的とした事業を実施する際、県単位で事業を展開できるようなシステムづくりを要望します。
		視察者や全国大会誘致による経済効果の創出と観光PR	・ 今年オープンする「米百俵プレイス東館」への視察者を長岡市内に宿泊させ、消費を喚起するためのインセンティブを設けることや、各業界の全国大会の積極的な誘致を要望します。また、若者や観光客によるSNS拡散を狙い、駅や花火会場に「NAGAOKA」をモチーフにしたフォトスペースの設置を要望します。
		市内企業に向けたM&Aの知識普及と学習機会の創出	・ 後継者不足などを背景に、市内企業が大企業に買収されるケースが増加している現状を受け、まずは市内企業がM&Aの仕組みを基礎から学ぶ機会の提供を要望します。
⑭南ブロック 出席者数：7名 振興委員数：8名	6/3 （水）	若者の地元定着・就労促進に向けた施策の拡充	・ 4大学1高専を擁し、多くの学生が学ぶ一方、その多くが卒業を機に関東圏に流出し、人口減少が続いています。 ・ 地元企業の魅力や将来にわたっての暮らしのイメージを若い世代に十分に届け、定着を図るための学生と地元企業のマッチングの機会、婚活や子育て・教育環境整備を充実させ、若者が長岡に定住、就労していくイメージが持てるような施策と発信力の強化を要望します。
		企業の人材確保と生産性向上に向けた支援	・ 市内事業者の多くは、人手不足に加え、原材料高騰・輸出規制といった様々な逆風に直面し、厳しい経営環境に置かれています。 ・ 1社では難しい情報発信や賃上げ等の人材確保に向けた支援を産学官連携で行っていただくとともに、生成AIや設備投資をはじめとした生産性向上に資する支援を要望します。
⑮北ブロック 出席者数：5名 振興委員数：7名	5/28 （木）	中心市街地のアーケードへの支援	・ エネルギー価格の高止まりにより、照明が間引かれた薄暗いアーケードは、治安や安全面で懸念があるだけでなく、米百俵プレイス東館オープンを控え、長岡の玄関口としてのイメージを損ないかねません。 ・ 都市景観を維持し、誰もが安心・快適に歩ける長岡駅前の環境を整備するため、地元地権者が負う電気代の全額負担を要望します。
		地元企業への優先発注	・ 「るろうに剣心」のマンホール設置事業において、長岡市が県外大手企業へ製造発注することがありました。 ・ 地域産業の価値の発信や育成の観点から、長岡市が発注する様々な案件について、製造工程の一部でも、地元企業が参画できる仕組みづくりの整備を要望します。